

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) タテホ化学工業株式会社

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

当社のホームページ (<http://www.tateho.co.jp>) で公開しています。

環境方針

■基本理念

タテホ化学工業グループは、環境を経営の最重要課題のひとつと位置付け、継続的改善により、事業活動のあらゆる面で負となる環境影響の低減に取り組み、地球環境に配慮した製品の提供に努め、環境保全及び汚染の予防を推進し、人と自然が調和できる社会の実現に貢献する。

■基本方針

当グループは、マグネシウム化合物及び関連製品の研究開発・製造・販売等の一貫した事業活動において、省資源・省エネルギー化、廃棄物の削減・リサイクル活動、大気汚染及び水質汚濁の予防に積極的に取り組み、環境保全及び汚染の予防を推進するとともに社会や地域と共生するために、以下の活動を実施する。

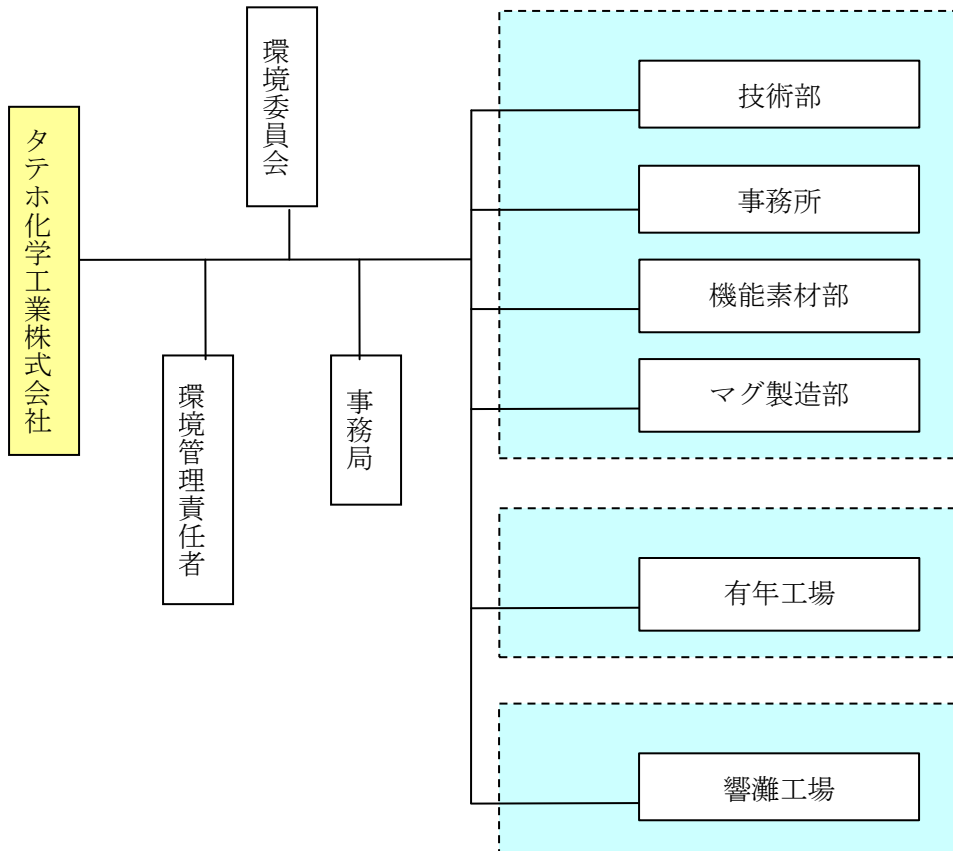
1. 事業活動が環境に与える影響を明確にし、環境目的・目標を定め、以下の継続的改善を展開する。
 - (1) エネルギー・資源の消費削減に積極的に取り組む。
 - (2) 廃棄物の発生の抑制・再使用・再資源化に積極的に取り組み、ゼロエミッションを達成する。
 - (3) 環境汚染予防の推進に積極的に取り組む。
 - (4) 事業活動に関わる環境関連法規、県・市との協定値を順守する。
 - (5) 環境に配慮した製品の開発に積極的に取り組む。
 - (6) 地球規模の環境負荷を軽減する活動に積極的に取り組む。
 - (7) 環境懸念物質を的確に把握し、関連規制を順守する。
2. 社会や地域との連携を大切に考え、社会貢献活動に積極的に取り組む。
3. 環境目的・目標を達成するため、環境マネジメントプログラム(実施計画)を設定し、計画的に実施するとともに定期的に見直しを行う。また、計画や実績を積極的に公開し、ステークホルダーへ周知する。
4. 環境マネジメントシステムの最適化を維持するため、最善の体制を構築する。
5. 組織で働くすべての人が環境方針を認識し、自らの意識高揚をもって、環境方針に沿った行動をとるように適切な教育訓練を行う。
6. 環境方針を文書化し、組織で働くすべての人に周知徹底するとともに、一般の人にも公開する。
7. 環境方針の定期的見直しを行う。

2015年1月1日



1-2 環境保全活動に関する組織体制

環境マネジメントシステムの体制



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
①法規制の順守と環境保全 ②大気汚染の防止 ③水質汚濁の防止 ④粉塵飛散の防止 ⑤地球規模の環境負荷低減	①環境パトロール・内部監査を通じ法規制に該当する化学物質の適正な運用管理を実施し、環境保全活動を維持・継続した。 ②環境保全活動を維持・継続した。 ③環境保全活動を維持・継続した。 ④環境保全活動を維持・継続した。 ⑤環境保全活動を維持・継続した。	①環境パトロール・内部監査の継続実施。 ②環境パトロール・内部監査の継続実施。 ③環境パトロール・内部監査の継続実施。 ④環境パトロール・内部監査の継続実施。 ⑤環境パトロール・内部監査の継続実施。 ⑥環境パトロール・内部監査の継続実施。
①エネルギー使用量の削減 ②空調・照明の管理 ③変化している周囲の状況	①焼成炉への原料供給方法を改善し、エネルギー原単位削減を図った。 ②管理温度設定による冷暖房機器の適正な運用管理(夏期:28℃、冬期:20℃)と照明管理を実施した。 ③9月よりLNGから都市ガスへ移行した。	①水資源のマテバラ管理を推進し、水資源原単位を削減。 ②冷暖房機器の適正な運用と適切な照明管理を行う。
①響灘工場への認証範囲拡大 ②影響を及ぼす事が出来る環境側面 ③日常業務と環境活動の融合 ④有益な環境側面	①響灘工場が拡張監査で本年5月にISO14001認証取得した。 ②原料・資材購入先からのグリーン調達を実施。 ③製造、品質、環境を統合した規程の定着と見直しを実施。 ④効率の良い生産方法・方式の開発と運用を実施。	①響灘工場の環境保全活動への参画。 ②EMS取得企業からの購入比率を60%以上にする。 ③ISO2015年度版への移行推進。 ④効率の良い生産方法・方式の開発と運用を継続。
①ゼロエミッションの推進 3R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進 ②一般廃棄物の削減 ③④その他	①ゼロエミッション(再資源化目標99%以上と定義している)に対して、2014年度は再資源化率99.8%としてゼロエミッションを達成した。 ②一般廃棄物の分別・保管を推進し発生量を削減した。 ③特別管理産業廃棄物の水銀含有廃棄物の処分先を北海道から岡山県の業者に変更し、輸送距離を短縮することで二酸化炭素の発生量削減軽減に貢献した。 ④製造工程から排出される産業廃棄物汚泥を肥料として再生し、その肥料をグリーンカーテンの肥やしに使う事で廃棄物の循環型利用を推進した。	①ゼロエミッションの継続。 ②一般廃棄物の分別・保管の継続。 ③当社にとって適正となる産廃業者の選定を行う。 ④廃棄物の循環型利用を継続。
①環境に配慮した製品の開発に取組む	①環境影響評価による環境へ貢献する重要開発テーマを実施。	①環境へ貢献する重要開発テーマを実施。
①緊急事態への準備及び対応	①排水のpH異常発生時の緊急対応訓練、塩酸漏洩対応訓練、高圧ガス異常事態発生時対応訓練を実施。	①緊急事態に適切に対応する訓練の実施並びに手順の見直し。
①5S活動の実施	①行動指針に従い5S活動を継続実施。	①行動指針に従い5S活動を継続。